

令和3年度（補正予算）

関係人口創出・拡大のための対流促進事業 （中間支援組織の提案型モデル事業）

事業の実施結果 （概要）

団体名	株式会社キッチンハイク
事業名	保育士・子育てファミリーと地域を継続的につなぐ関係人口創出事業

- 多くの地域で共通課題となっている「子育て世代の獲得」や「保育環境の整備」の解決に向けて、保育士やその候補、保育園需要のある家族などをターゲットとした関係人口の創出を図った。
- 地域と都市圏の保育士をつなぐ「保育士留学」、地域と都市圏の子育て家族をつなぐ「保育園留学」を実施するとともに、オンラインツールを活用して効果検証を実施した。

主な活動内容

1. 保育士留学・保育園留学のニーズ検証

- 北海道浦河町・熊本県天草市を含む各地域の保育園・自治体30箇所に対し、保育士留学・保育園留学のニーズについてヒアリングを行った。

2. 地域と保育士をつなぐ「保育士留学」の実施

- 保育士の資格を持つ方をターゲットに、1週間、地域の園に保育補助として勤務する保育士留学を企画し、新潟県南魚沼市及び岐阜県美濃市でモニターを1組ずつ実施した。

3. 地域と子育て家族をつなぐ「保育園留学」の実施

- 都市の子育て家族をターゲットに、1～3週間地域の保育園にこどもを預ける保育園留学を企画し、南魚沼市及び美濃市をはじめ全国10地域で保育園留学を実施した。

4. オンラインツールを活用した効果検証

- 地域と関係人口とのつながり度合いをスコア化し、コミュニケーション可能なシステムの開発を行った。



岐阜県美濃市での保育士留学



熊本県天草市での保育士留学



世界でいちばん小さな留学生へ

保育園留学HP



地域おこし保育士隊への思い

保育士留学HP

主な成果

1. 参加者や地域の声

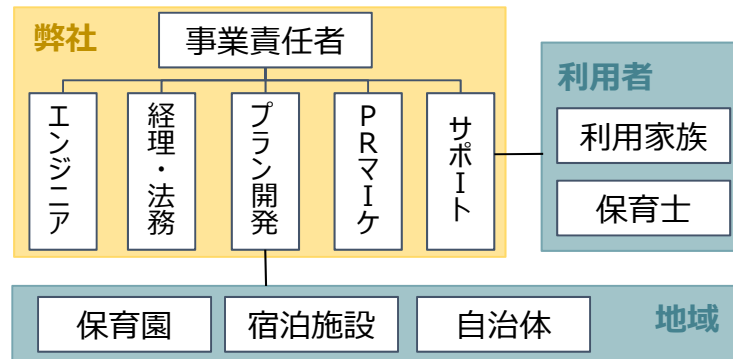
- 保育士留学の参加者（保育士）からは、「視野が広がった」というような満足度の高い声が上がった。
- 受け入れ側の保育園からは、保育士が来てくれて助かった面もあるが、教育する労力の方が大きいと感じた、という課題の声が上がった。
- 保育園留学の参加者（家族）からは、先生とのつながりができ、また来たいという声が上がった。

2. 事業を通じて得られた気づきや知見

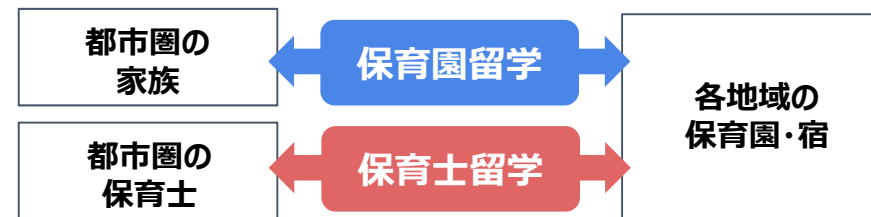
- 体験としての満足度は高いものの、保育士としての動機は「働く」であり、継続可能なモデルにするためには、園や地域が、雇用費・旅費・滞在費を捻出するメリット設計が必要ということがわかった。
- 保育園留学は、体験満足度が高く、リピート希望も95%を超えて、関係人口の創出につながった。
- オンラインツールの活用においては、自治体の個人情報取扱いに対する見解がハードルとなった。

事業実施体制・関係機関

地域の保育園・宿と連携してプランを開発し、弊社がシステム開発からサポートまでを一貫して行った。



団体名	役割
金城幼稚園・保育園	家族・保育士の受け入れ
美濃保育園	家族・保育士の受け入れ
もぐし海のこども園	家族・保育士の受け入れ
熊本県天草市	園・宿の紹介、つながるDX活用
WASITA MINO	宿の提供
さえもん旅館	宿の提供



デジタル分野に関する取組状況

- 地域と関係人口とのつながり度合いをスコア化し、関係人口と呼ばれる人々にコミュニケーション可能なシステム、つながるDXの開発を行った。
- 保育園留学参加ユーザーやふるさと納税寄付者リストなどをシステム上で突合し、ふるさと納税などの地域に関わった活動の回数に応じてスコアが高くなるよう設計した。
- 潜在保育士を集め、メールなどで採用の募集などを行える機能を開発した。

The screenshot shows a user profile for 'Masaya' (雅也), a 'Mail List User' (メールリストユーザー). The profile includes the following information:

- Age: Unknown (年代 不明)
- Gender: Unknown (性別 不明)
- Residence: Kagoshima Prefecture (居住地 神奈川県)
- Tag: #2021年度ふるさと納税寄付者

 Engagement metrics are displayed in three boxes:

- Connectivity Score (つながりスコア): 30 (Rank A)
- Connectivity Years (つながり年数): 1 year 8 months (2021.07~)
- Event Reservations (イベント予約数): 0

 On the right, there is a 'Digital Menu' (つながるDXメニュー) with options like Home, Events, Connect with Users, Messages, Direct Messages, and a 'Logout' (ログアウト) button. Below the menu is a 'Mail Delivery' (メール配信) section with buttons for 'New Creation' (新規作成) and 'Name Setting' (署名設定), and a list of 'Created Mail' (作成したメール一覧) with a page indicator '1 / 2 次へ'.

次年度以降の事業展開

- 保育士留学は、近隣都市への保育士採用へ取組を変えていく。2023年度は引き続き実証実験期間にあて、自立・自走化していけるモデルの開発を見つける。
- 保育園留学は、全国展開を進める。2024年3月には、全国で50箇所へ留学できるように展開していく。また、関係人口創出だけでなく、移住などへも期待の広がりがあり、留学から移住まで地続きとなるような施策を進めていく。
- 関係人口システムは、長期的な運用と情報の蓄積を進めていく。関心層とシステムでつながり続けることで、超長期的な関係人口を創出する。

<保育園留学の事業スケジュール>



「海外留学」と同じように「保育園留学」が当たり前の世の中へ。オンラインでつながり続け、超長期的な関係人口創出へ。

自立・自走化にあたっての課題

<保育士留学の課題>

保育士側：短期期間の保育士留学は、保育士側の体験としては魅力はあるが、交通費・宿泊費を払うほどのニーズはない。あくまで働く身としての参加なので、支出よりも収入が多くなるようにしたい。

受け入れ地域側：地域側の短期間受け入れは、経験者であっても助かるメリットより、教える労力の方が上回る。

<保育園留学の課題>

問合せ対応コストが高い。受け入れ地域を拡大し、スケールメリットをつくることと、仕組み化・自動化システム開発を進める。

<デジタル分野における課題>

自治体の個人情報取扱いに対する見解がハードルとなったが、今後地域ごとの事例が増えるとともに、時間をかけて改善していく。

<保育士留学の改善策>

- 交通費・宿泊費負担が少なくて済むような、近隣都市からの募集
- 「地域おこし協力隊」予算の活用など、地域課題のために行政連携をするモデル
- 数時間の見学や、3ヶ月以上の長期雇用形態の募集
- 留学家族あたりの預かり料金を、保育士雇用できるように設定

保育士留学は、「留学」という体験設計ではなく、「情報発信」や「雇用形態」などヘシフト